第3学年 「総合的な学習の時間」 学習指導案

1. テーマ名 「現代社会の諸問題の研究」

2. テーマ設定の理由

○テーマ観

本講座では現代社会の諸問題の中から各自の興味・関心,進路に関連してテーマを設定し,課題を解決していく力を身に付けるための学習を行う。まず,多彩なメンバーの興味・関心に沿って行う共同研究で互いに刺激しあいながら現代社会の諸問題についての基礎知識や考え方を習得する。その過程で情報の収集,整理,分析,まとめ方の研究で小論文の技能を身に付ける。次いで各自が自ら設定した地域,福祉,教育,情報,食育,環境などの現代的な課題についての横断的・総合的な探求活動で自らの考えを確立するとともにそれを表現する技能も身に付ける。

○生徒観

本講座の受講者は1年次に現代社会(2単位)を履修している。学力水準は多様であるが、日々の 社会的な事象への知的好奇心は旺盛である。進路希望は保育師、中学教師、警察官、歯科衛生士、美容 師、ホテルウーマン、音楽プロモーターなど多様であるが、進路意識はおおむね明確である。

○指導観

学習には、①知る→②考える→③自分の意見をもつ→④行動する、の各段階がある。系統的に学ぶ教科の授業では遺憾ながら①の知識習得段階にとどまることがある。本講座では生徒が主体的に設定したテーマについて、探求活動をする中で「②考える」段階を経て自ら判断し、「③自分の意見をもつ」レベルに至ることも可能である。もとより、「④行動する」は生き方、在り方にかかわるが、主体的に判断・行動できる資質や能力を養うことで「生きる力」を育成できることはまちがいない。

3. 指導目標

- 発表資料を効果的に活用して研究内容を発表できる。
- 他者の研究内容や表現技能の向上につなげる評価の目を養う。
- 4. 指導計画・・・・配当時間 3年時3単位
- (1) オリエンテーション・・・・・・・・・5時間
- ①本講座の意義、目標、年間計画、研究テーマの設定と調査・研究ガイダンス
- (2) 小論文の研究・・・・・・・・・・・・6 0 時間
- ①現代社会の基本問題についての共同研究で研究仲間としての一体感を醸成する(小論文入門)
- ② 各自の進路に沿った小論文の研究
- (3) 課題研究 (調査・研究とまとめ) ・・・・・・・20時間
- ①地域についての研究・自立更生施設の設置をめぐる問題についての研究
- ②進路に関連する研究・虐待防止についての日米のちがいについての研究
 - ・ネットいじめ等最近のいじめ問題についての研究
 - ・児童虐待防止についての研究
 - ・いじめの基本問題についての研究
- ③健康についての研究・ダイエットについての研究
 - ・栄養問題についての研究
 - ・歯の健康についての研究
- ④雇用についての研究・雇用の多様化と「学歴社会」の変容についての研究

・フリーター問題についての研究

- ⑤興味・関心を基にした研究・飲酒運転防止についての研究
 - ・世界の変わり種法律についての研究
- (4) 中間発表会・・・・・・・・・・・・・・・5 時間 (本時1時間)
- (5) 補充調査・研究とまとめ、最終発表会・・・・・15時間
- 5. 本時の内容

価

各自のテーマについて研究成果の発表と生徒相互で評価を行う。

- 6. 指導上の留意点
 - 発表者が研究成果の発表を意欲的に行えるように配慮する。
 - 評価においては、発表者が成就感を得られるように良い点を見つけるとともに、さらなる研究や表現の技能の向上につながるように配慮する。
- 7. 教材 ①発表資料(パワーポイント), ②パソコン, ③評価シート
- 8. 学習の展開(本時の学習指導過程)

· .	于日 沙成而 (平的少于日1日等週往)					
	学習活動・内容	指導上の留意点	教	配	形	評
	7 111133 1 7 1	11 (1 = 2 = 12/2)	材	時	態	価
準	発表の準備,着席指導,	発表に必要なものに不備がないか確認			個	
備		させる			人	
	・学習内容を確認する。	・本時は課題研究の発表を行うこと、発				
.异		表については評価シートの項目に沿っ	3	5	_	
導		て評価すること,評価では良いところを		分	斉	
入		見つけ,仲間の研究をよりよいものにす				
		るために行うことを確認する。				İ
	・最初の発表者から順に前に出て	・発表者の声が生徒に届いているか、毎	1		個	(1)
展	発表する。	回確認する。	2	40	別	
		・聞いている生徒に話しかけるように発		分		
		表しているかを評価する。				
	・発表についての評価を評価シー		3		個	(2)
開	トに書く。				別	
1211	・発表毎に、課題を確認する。	・課題を明らかにするために,必要に応	1		_	(1)
		じて補足質問を行う。	2		斉	İ
	講評を聞く	・発表者が成就感を得られ、さらなる調	(3)		_	(1)
ま	.,,,,,,	査・研究と表現の技能を高められるよう	(3)	5	斉	(2)
ょと	- 外の時間の味趣と自信を推認する。	国: 切元と表現の技能を同められるよう に留意する。		o 分	1.FJ	(4)
め	<i>`</i> ∂∘	(0 田 心 ソ 幻 。		//	個	
(4)					別	
-	(1) 水土次収えが用品にオロン	ア	++-41-	#1		<u> </u>
評	(1)発表資料を効果的に活用して、研究内容をわかりやすく伝えている。【技能・表					
1	"' (2) 他者の発表に興味・関心をもって臨み、評価シートによい点及び改善点をきちんと記入					

(2)他者の発表に興味・関心をもって臨み、評価シートによい点及び改善点をきちんと記入している。【関心・意欲・態度】